

## 産学官金連携支援コミュニティ「DX サンライズおかやま」について

岡山大学 研究協力部 産学連携課（船倉隆央、吉田昌彦、杉山有也美、大角宏晃、阿部純一）

### 1. はじめに

岡山大学は、県内中小企業のデジタルトランスフォーメーション(以下、DX)を強力に後押しするため、DXに向けた伴走支援やデジタル人材の育成を目的として、岡山県内企業および支援機関等11社で連携し、「DXサンライズおかやま」(以下、DXSUN)を発足した。

DXSUNでは、参画メンバーである各社・各支援機関等がそれぞれの強みを持ちより、「新たな価値創造」に重点を置いた産学官金連携によるオーダーメイド型のDX支援を行う。また、企業の実態に即したリスクリングの仕組みを岡山大学等で整備することにより、デジタル人材の育成も同時に行う。これらの活動により、県内中小企業のDXを面的にサポートし、業種横断的な価値創造を目指す。

### 2. 活動概要

#### (1) 発足の背景

岡山県は、全国平均に比べて石油、鉄鋼、化学、輸送用機械などの製造業の集積が高く、また、繊維・衣服、ゴム、窯業、農業用機械製造業などの伝統的な地場製造産業が地域経済を下支えしている。一方で、県内企業にとって、リソースやデジタル人材の不足がDXの大きなハードルであり、今年6月に岡山商工会議所連合会が実施したアンケート調査によると、約4割がまだDX化に向けた取組を行っておらず、課題については「DXに関わる人材が足りない」が39・6%。「予算の確保が難しい」が19・1%、「何から始めてよいかわからない」が14・2%という結果となっている。このため、リスクリングによるデジタル人材の育成、DXを進めるうえでの目標（ビジョン）設定や手順検討について外部支援機関によるサポートが急務となっている。

このような課題の解決に向け、本学がイニシアティブをとり、DXの相談受付から実装までワンストップで支援するDXSUNを発足した。DXSUNは、企業が抱える課題および地域が抱える社会課題の解決や新たな価値の創造を推進し、岡山県内企業の競争力向上および経済産業の発展に寄与することを目指している。

#### (2) 支援内容

DXSUNにおいては、参画メンバーである各社・各支援機関等が強みを持ちより、DX化に向けたビジョン作りのための伴走支援、デジタル人材の育成、DX推進に役立つセミナーの開催、個社別のDX相談の受付といった、情報共有の促進や解決策の立案・実行支援までをワンストップで行い、県内企業のDX推進を強力に支援する。取組の第一弾として、今年7月にDXSUNとして採択された令和5年度「中小企業地域経済政策推進事業費補助金（地域DX促進環境整備事業）」を活用し、県内企業6社に対して伴走支援を実施中。

#### (3) 「DXサンライズおかやま」構成員一覧

国立大学法人岡山大学、一般財団法人岡山経済研究所、一般社団法人岡山県商工会議所連合会、岡山県商工会連合会、岡山県中小企業団体中央会、株式会社中国銀行、株式会社Cキューブ・コンサルティング、株式会社システムズナカシマ、株式会社両備システムズ、公益財団法人岡山県産業振興財団、岡山県（計11機関）

### 3. ビジョン駆動の産学官金連携（考察）

大学がリードして中小企業支援を行う形態は全国的にみても例が少ないが、DXSUN発

足に至った大きな要因は、本学がまずもって理想的なDX支援体制像（ビジョン）を描き、そのビジョンへの共感が金融機関、産業界、行政へと伝播し、行動へと繋がったことだと考えている。大学がその中立性と専門性を活かし、誰もが共感できるビジョンを率先して描くことによるチームアップは、DX支援に限らず例えばスタートアップ支援やその他共創活動においても応用できるものであり、大学の役割として今後さらに求められるものと考えている。DX SUNとしては、引き続きビジョン駆動型の支援コミュニティとして、ありたい姿の実現に向け諸活動を進めていく。

【参考】DX サンライズおかやま体制図

